



豊岡版エコハウスモデルプランの提案 ～住宅のエコを考える～

市では、平成21年度に整備した「豊岡市エコハウス」の性能検証結果や専門的な技術研修などを踏まえ、より豊岡の気候風土にマッチしたエコハウスを普及するため、豊岡版エコハウスモデルプランを作成した。

1 現豊岡市エコハウスの性能検証

平成22年度に各部屋等の気温、湿度の推移や太陽光発電量、消費電力量など年間データを蓄積するとともに、(社)日本建築家協会による性能検証調査、豊岡市建築大工組合による「エコハウス宿泊研修会」の意見を踏まえ、各工法の検証を行った。

【検証結果】

評価区分	工法・技術
推奨する	地元産木材の使用 太陽光発電システム 土壁外断熱工法 ペレットストーブ 耐震木格子 雨水タンク
可能であれば推奨する	天窓 西日除け格子戸 吹抜け 通気層 ヒートポンプ式電気給湯器 家庭用燃料電池
どちらともいえない	木製サッシ 床下構造 風のこたつ
推奨しない	循環ダクト・風のロフト

2 豊岡版エコハウスモデルプラン

(1) 豊岡版エコハウスモデル化への基本的な考え方

エコハウスの基本 “環境に負荷をかけない方法で住宅を建てる”

ア、地域の気候風土や敷地の条件等に応じて、自然エネルギーが最大限に生かされる。

イ、身近に手に入る地域の素材を使う。

豊岡版エコハウスモデル化の基本

ア、省エネ性能の確保

目標：「二酸化炭素排出量を50%削減する。」

イ、建土工法の基本

木造在来工法を基本とし、木材や土壁等の自然素材の持つ調湿機能等を生かす。

ウ、自然エネルギー（太陽・風）の活用

太陽の方位・角度や風方位の要素を建物の配置に取り入れることでさまざまな省エネ効果が期待できる。

エ、市内建築資材等の積極的活用

木材、ペレットストーブ、太陽光発電パネル製造などの市内建築資材等の使用で、豊岡の経済の活性化を図る。



(2) モデルプランの具体的な展開

自然のめぐみを住宅に活かす

自然の力の利用や太陽エネルギーの導入

(技術・工法；太陽光の利用、太陽光発電、太陽熱給湯器)

夏は涼しく冬は暖かい住まいをつくる

季節毎に光と風のコントロールや高効率建具の導入など

(技術・工法；敷地の緑化、天然素材を用いた壁、高性能断熱材、高断熱サッシ等)

環境負荷を減らす設備機器の導入

節水、節電、木質バイオマスエネルギーの導入

(技術・工法；節水型の便器等、ペレットストーブ等)

豊岡の自然・経済への配慮

豊岡の自然などに調和した住宅を創ることや市内製品の活用など

(技術・工法；瓦屋根、太陽光発電パネル、地元産材の使用等)

(3) モデルプランのイメージ

別添「豊岡版エコハウスのモデルプラン」中の「モデルプランイメージ」のとおり

3 豊岡エコバレーの実現を目指して

環境負荷の少ない住宅の普及によるエネルギーの効率利用と快適な生活のできる家づくりのヒントを市民の皆さんへ提案するとともに、地域経済が活性化しているまち「豊岡エコバレー」の実現を目指す。

4 普及促進など

市内建築業者(大工、工務店、設計事務所等)を対象とした説明会などを開催し、普及促進を図る。

[問合せ] 豊岡市都市整備部建築住宅課 0796 - 21 - 9018